

保護者の皆さまへ

令和6年9月
廿日市市立大野東小学校
校長 林 健一郎

令和6年度全国学力学習状況調査の結果と今後の取組について

菊花の候、保護者の皆さまには平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、見出しの学力調査について、次の通り結果をまとめましたので、報告いたします。また、結果をふまえ、すべての学年において今後も児童の学力向上に努めてまいります。

令和6年度 全国学力・学習状況調査(正答率%)

	国語	算数
本校	70	63
広島県	69	64
全国	67.7	63.4

平均正答率は国語科で県平均、全国平均を上回りましたが、算数科では全国平均を下回りました。無解答の割合が全国平均、県平均よりも少なく、難しい問題にも最後まで取り組む姿勢が身に付いていることが分かりました。その上で、課題点と今後の取組をお伝えします。

国語科

問題文をきちんと読み取ること、問題の意図や状況を把握することに課題がありました。また、語彙力にも課題がありました。

算数科

図形の性質を正しく理解すること、定義や根拠を基に説明することに課題がみられます。また、問題を的確に把握することにも課題がありました。

課題に対する取組

- この結果を受け、次の点を全学年で重点的に取り組んでいきます。
- ・学年の実態に応じて、しりとりなどの言葉集め、辞書の活用、タブレットドリルの活用などをして語彙を増やすようにしていきます。
 - ・具体物・実物を用いることや、体験的な学習を大切にして考え方や定義・用語の理解を深めていきます。
 - ・複数の情報を読み取り関係づけることや、多くの文や言葉の中から必要なことを自分で選び取って問題を解く経験を増やしていきます。